

IPPUDO SYDNEY
Circular Quay



株式会社 カの源ホールディングス 【証券コード: 3561】

2023年3月期 第2四半期決算補足説明資料

2022年11月14日



IPPUDO MELBOURNE
Westfield Doncaster

- 1. 2023年3月期 Q2業績報告** P.2~P.21
- 2. 2023年3月期 (今期) 計画** P.22~P.26
- 3. 付属資料** P.27~P.33

1

2023年3月期 Q2業績報告

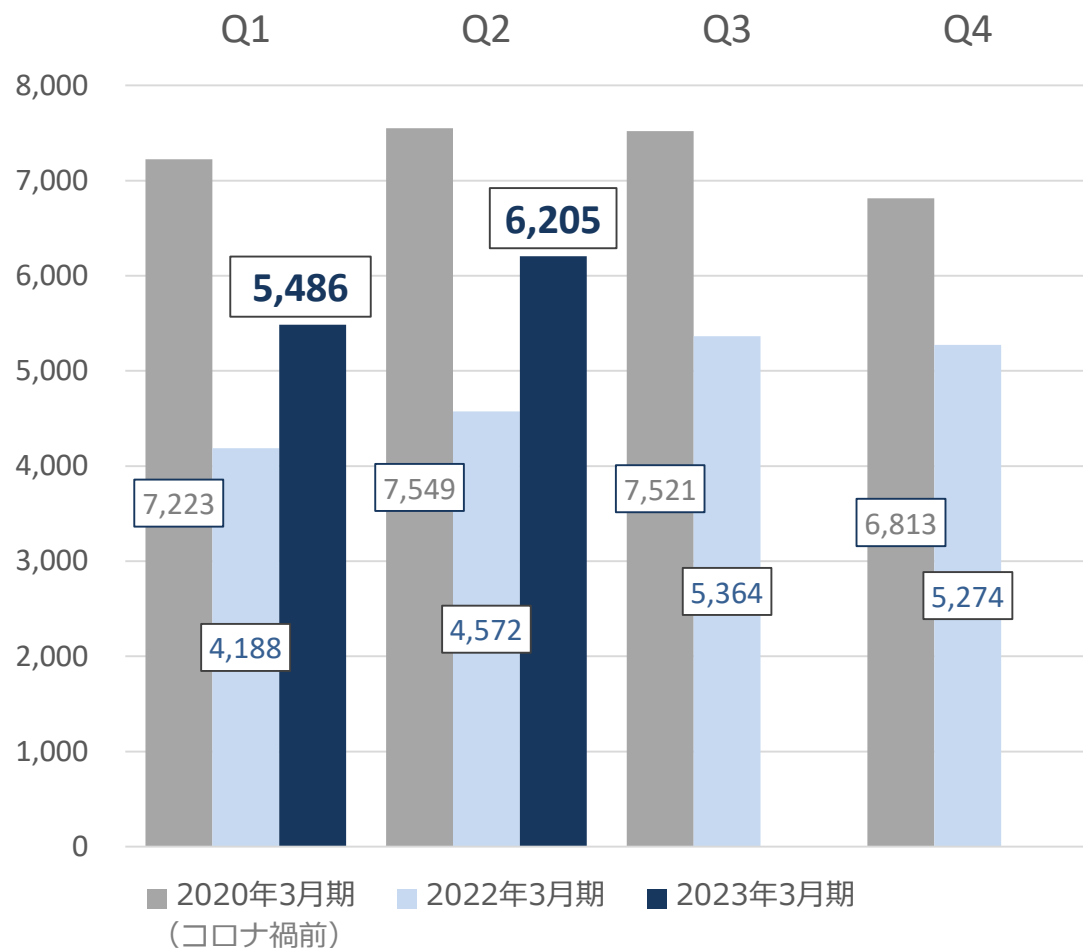
連結売上高前年同期比は33.5%増。国内は、第7波感染拡大や労働者不足の影響を受けたが、前年同期比11.6%増。海外は、一部エリアにおいて感染の影響が残るものの、前年同期比65.9%増
営業利益、営業利益率ともに計画、前年同期、コロナ禍前同期を上回る



連結四半期別売上高・営業利益推移

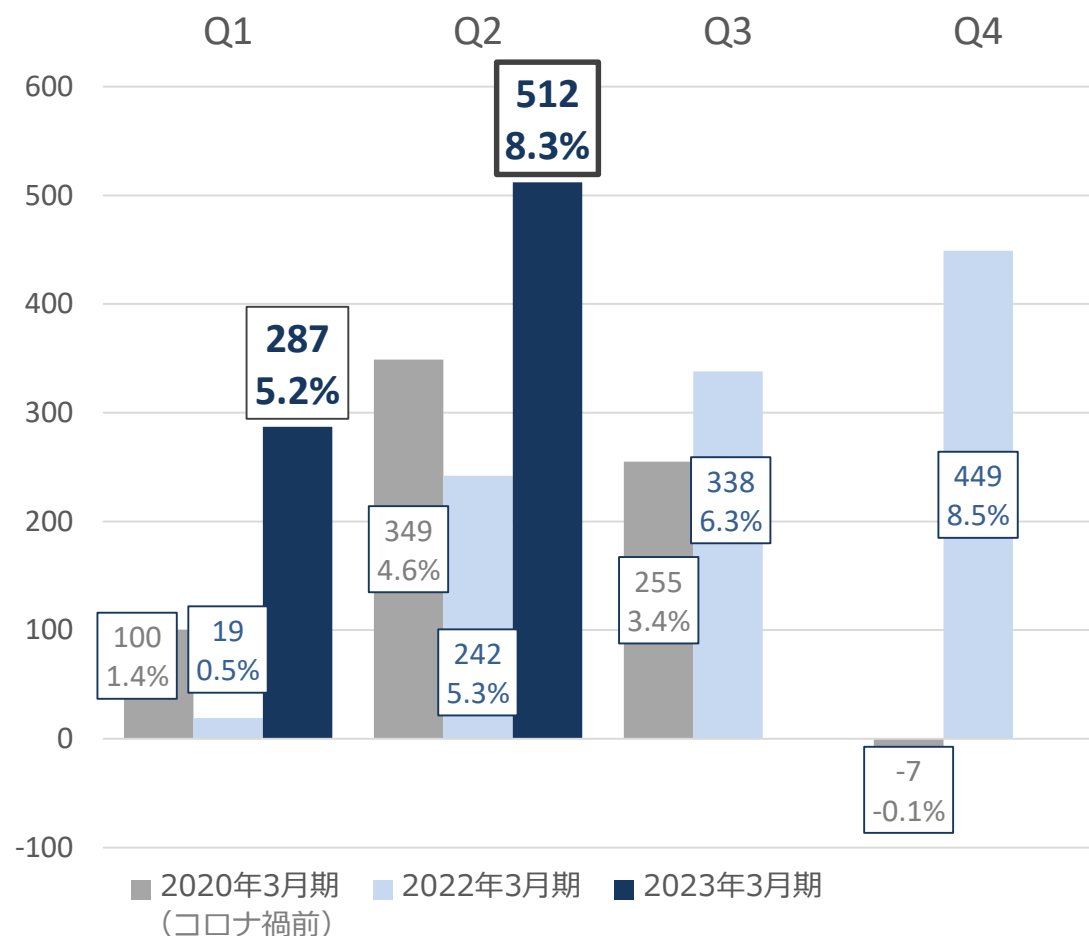
売上高はQ1から引き続き、前年同期比30%以上増を継続
営業利益も、前期及びコロナ禍前同期を上回る

売上高



営業利益 (下段は営業利益率)

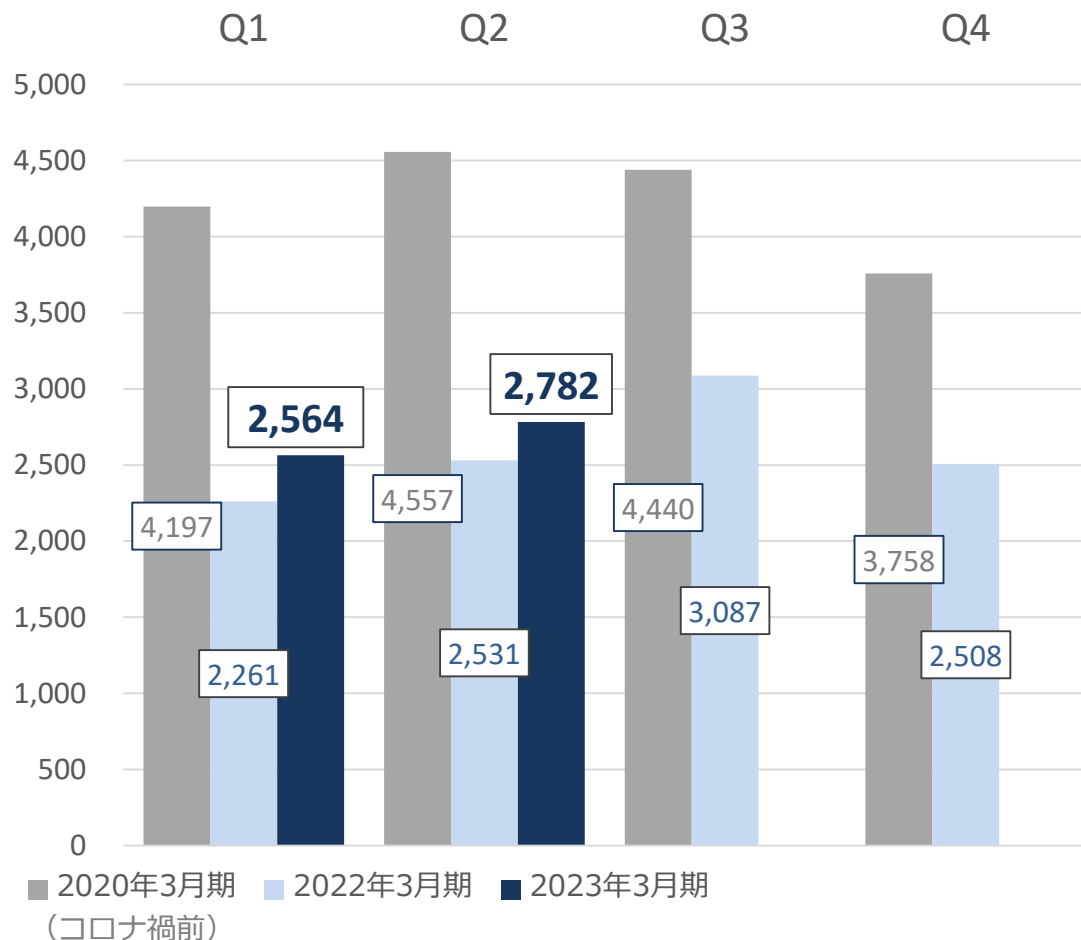
単位：百万円



国内店舗運営事業 四半期別売上高・営業利益推移 (2022年7月～9月)

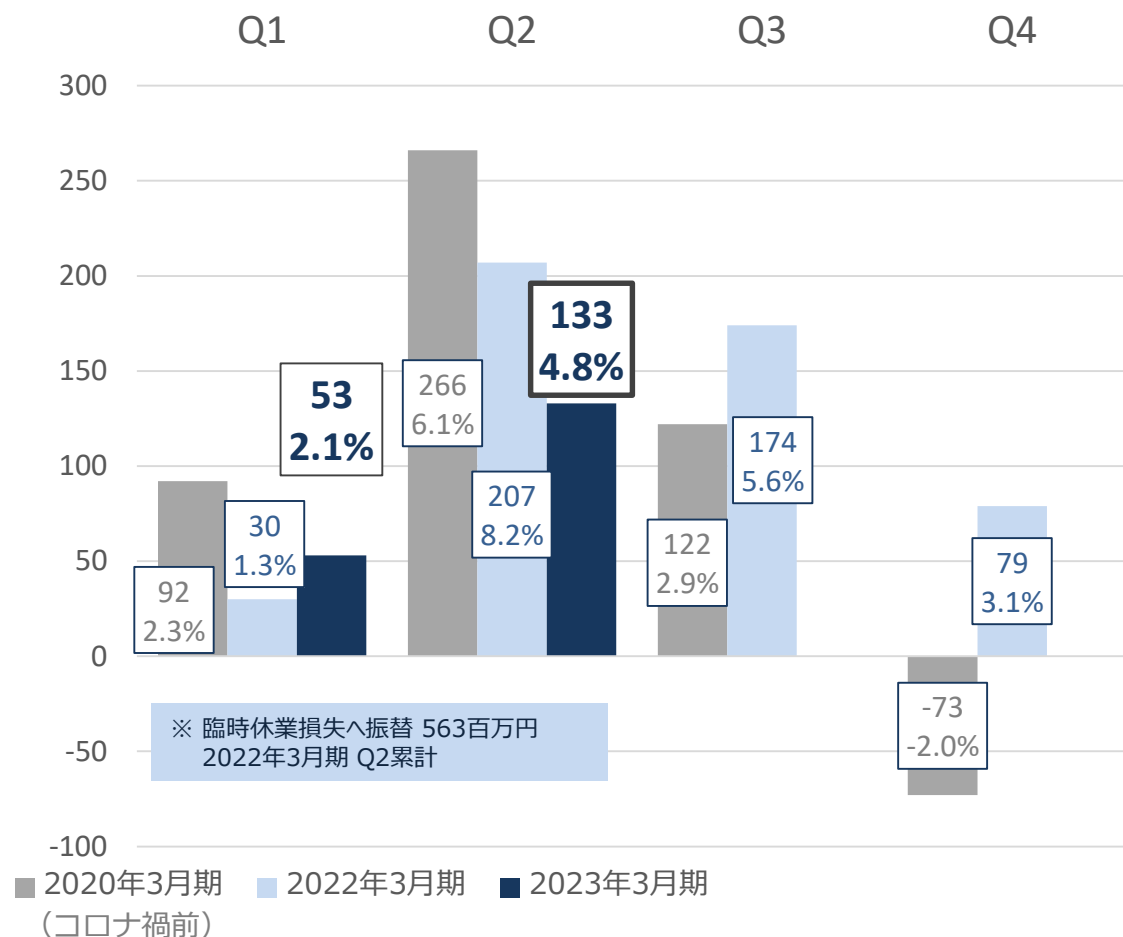
国内売上高は前年同期比9.9%増。第7波感染拡大や労働者不足、営業時間短縮等が続くも、売上を確保
 原材料や水光熱費等のコスト増に対応し、7月1日より価格改定を実施し、前年同期比で客単価が4.0%増
 営業利益は、社員給与のベースアップを実施したものの、臨時休業損失への振替影響（563百万円）を除けば
 前年同期を大幅に上回る結果

売上高



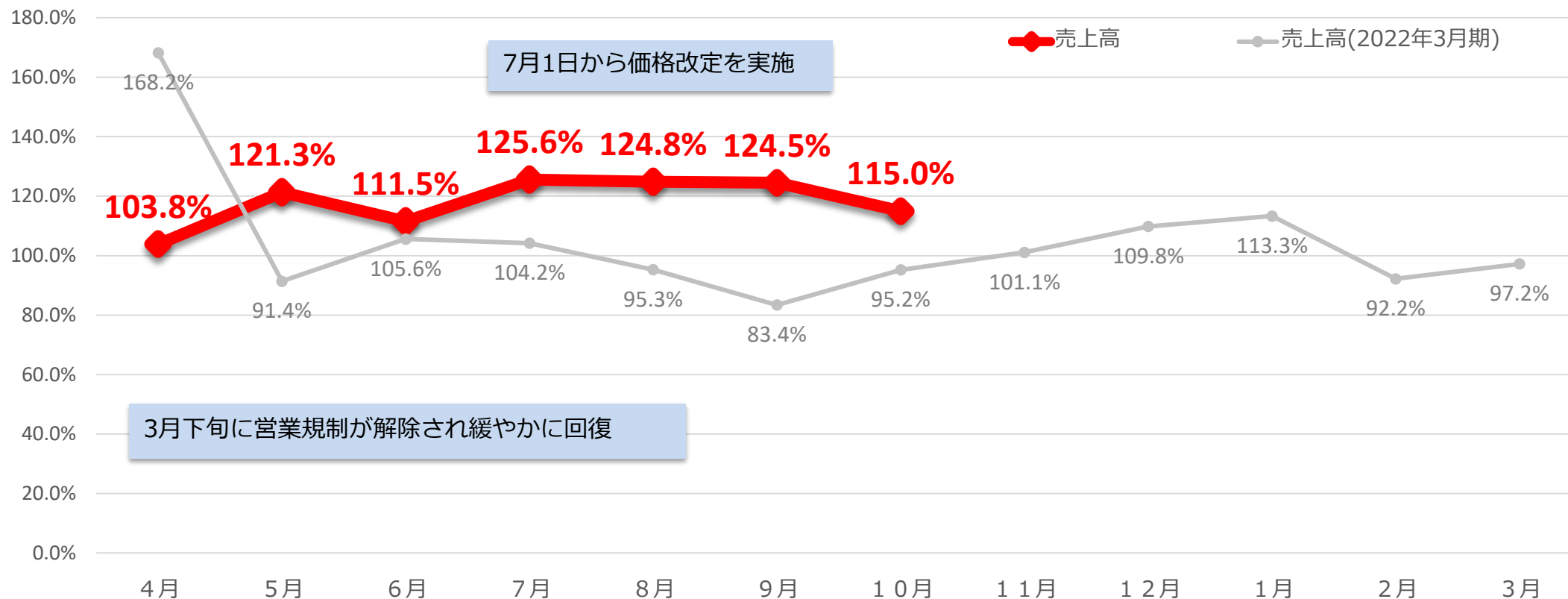
営業利益 (下段は営業利益率)

単位：百万円



国内既存店前年比117.9%（10月まで累計）

2023年3月期 国内既存店の売上高/客数/客単価の推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
売上高	103.8%	121.3%	111.5%	125.6%	124.8%	124.5%	115.0%						117.9%
客数	102.8%	119.9%	108.6%	117.6%	118.0%	116.4%	107.9%						112.8%
客単価	101.0%	101.2%	102.6%	106.8%	105.8%	106.9%	106.6%						104.5%

■ 売上高

- ✓ 第7波感染拡大や労働者不足から、深夜帯営業は再開していないが、前年同期比9.9%増
- ✓ 価格改定したものの、客数前年同期比8.1%増、客単価4.0%増
- ✓ 「プラントベース」をレギュラーメニューに加え、一風堂新宿ルミネエスト店がリニューアルオープン
- ✓ 新規4店舗を出店し好調に推移

■ 営業利益

- ✓ 社員人件費のベースアップ及びアルバイト時給単価を上げることで人材確保に努める
- ✓ 原材料や水光熱費の上昇に対応し、7月1日より価格改定
- ✓ モバイルオーダーやタブレットオーダー導入等、DX施策により収益性が改善
- ✓ 不採算店舗の戦略的閉店を4店舗実施

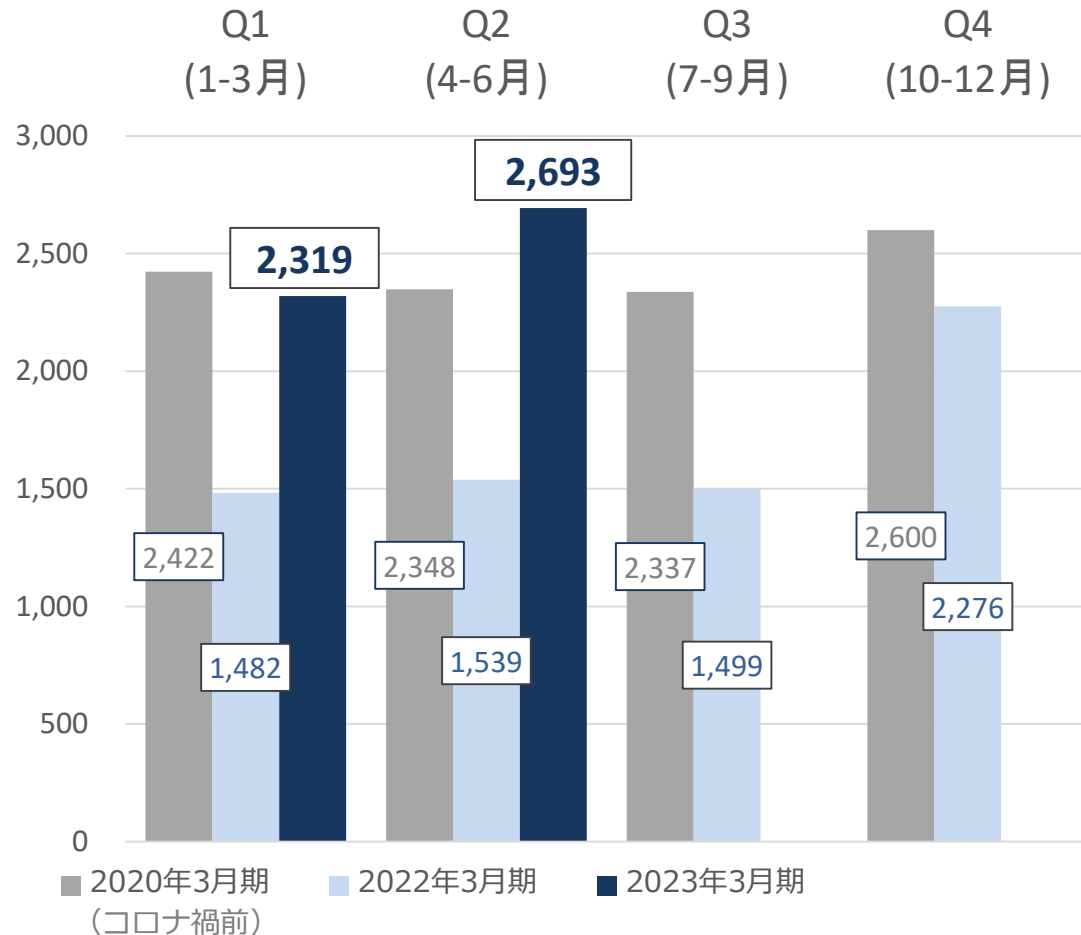


豊潤ベジ彩麺 プラント赤丸
新宿ルミネエスト店「プラントベース」レギュラーメニュー



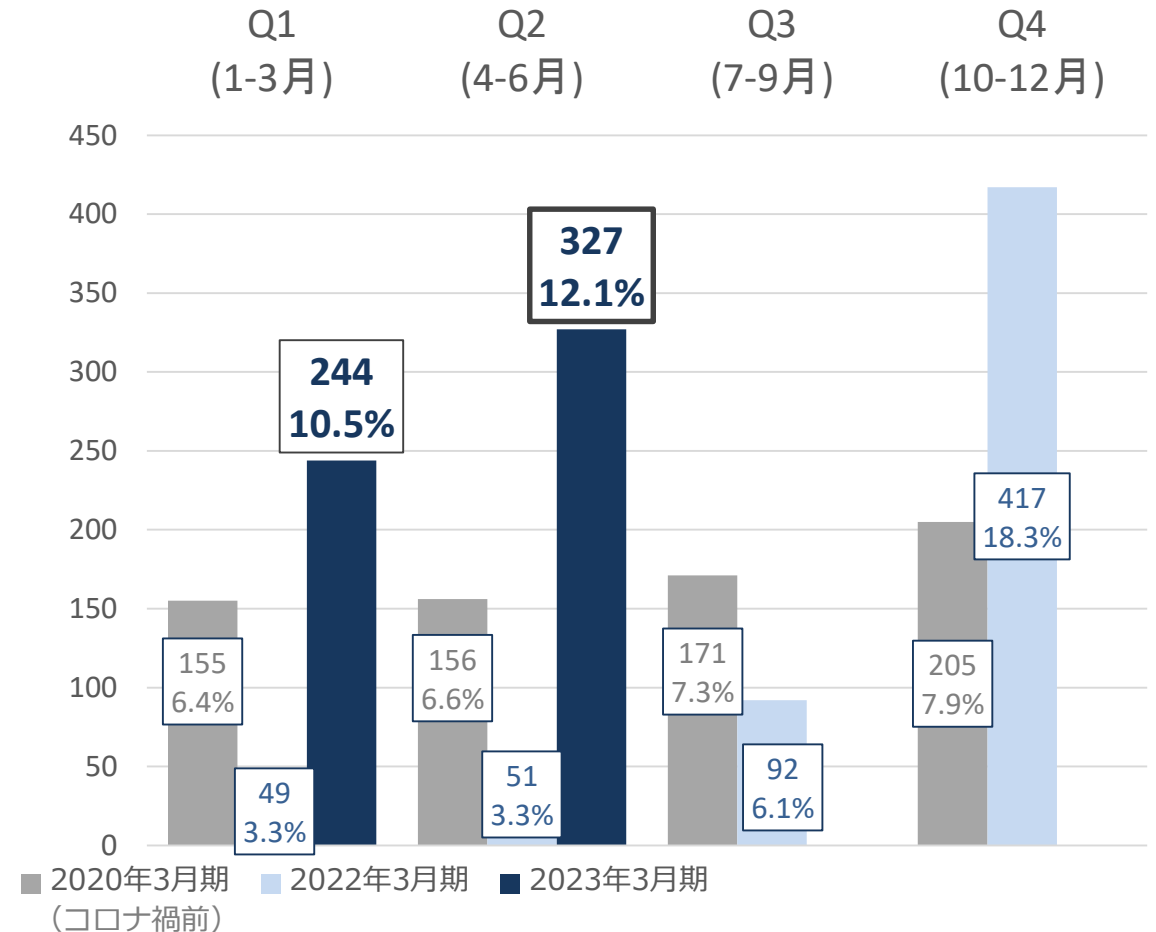
海外の売上高は、台湾エリアのみ感染拡大の影響が残ったものの、前年同期比75.0%増(内、為替影響21.1%)
 営業利益は、原価や人件費のコントロールを徹底したことでコロナ禍前Q2を大幅に上回る

売上高



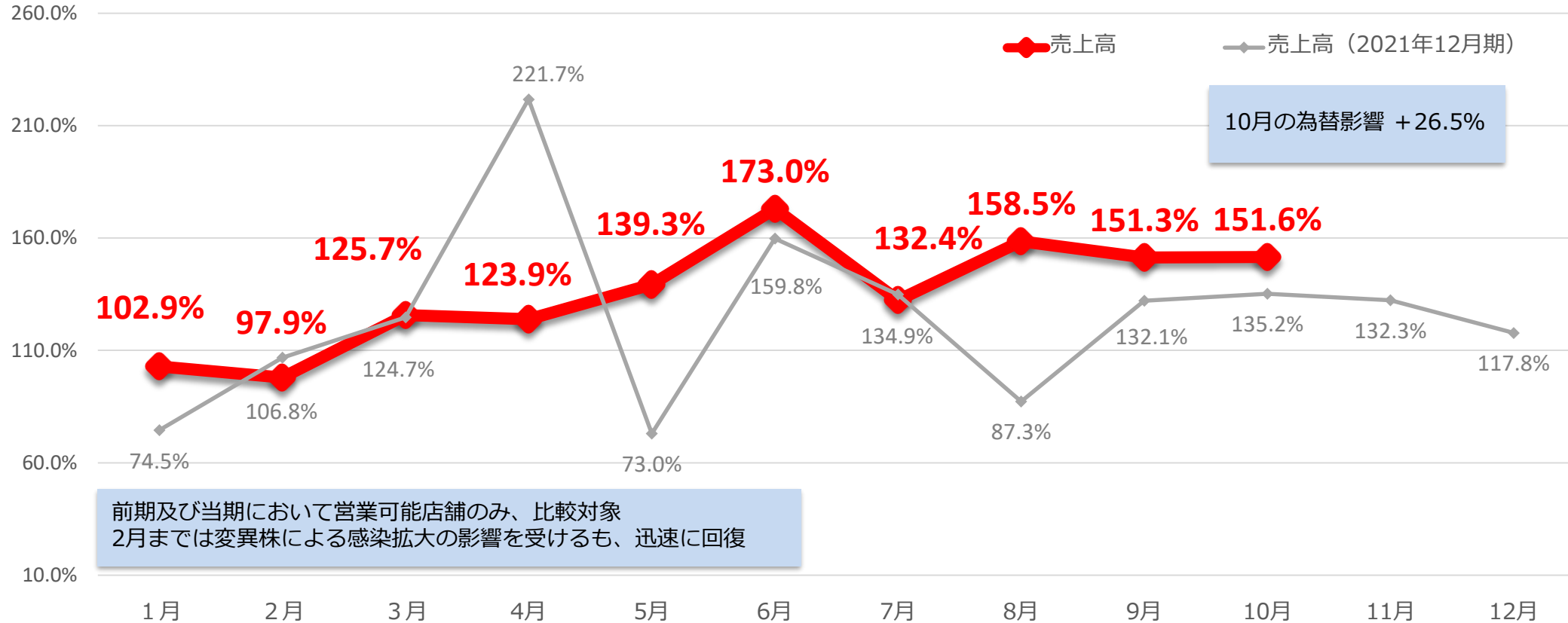
営業利益 (下段は営業利益率)

単位：百万円



海外既存店前年比137.9%（10月まで累計）

2022年12月期 海外既存店の売上高/客数/客単価の推移



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
売上高	102.9%	97.9%	125.7%	123.9%	139.3%	173.0%	132.4%	158.5%	151.3%	151.6%			137.9%
客数	92.1%	87.3%	100.4%	100.7%	110.3%	139.4%	106.9%	129.9%	119.7%	112.4%			109.2%
客単価	111.7%	112.1%	125.2%	123.0%	126.3%	124.1%	123.9%	122.0%	126.4%	134.8%			126.3%

■ 売上高

- ✓ 直営エリアで2店舗（台湾・インドネシア）、
ライセンスエリアで1店舗（タイ）出店
- ✓ 期間限定商品の販売のほか、価格改定やグランドメニュー内容の
改定、デザートメニューの導入等を実施

■ 営業利益

- ✓ 原材料やエネルギー価格の高騰等、様々なインフレ要因を受け、
価格改定やコストの調整を実施
- ✓ 国内同様にモバイルオーダーの導入等、DX推進で収益性が改善



IPPUDO Paris
ベジラーメン



冷やし中華



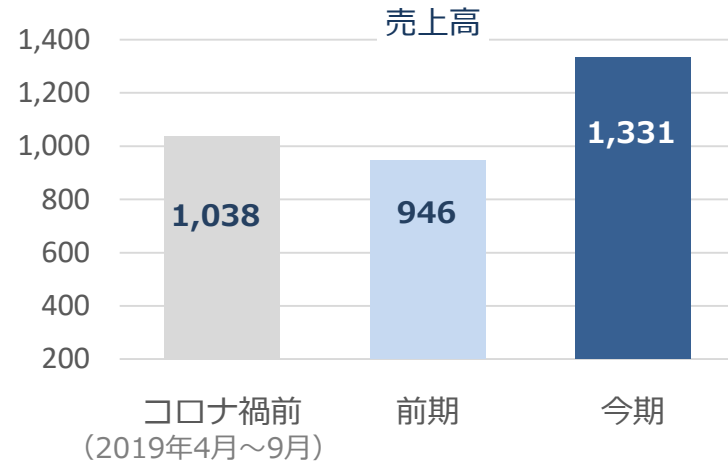
IPPUDO NY
抹茶かき氷



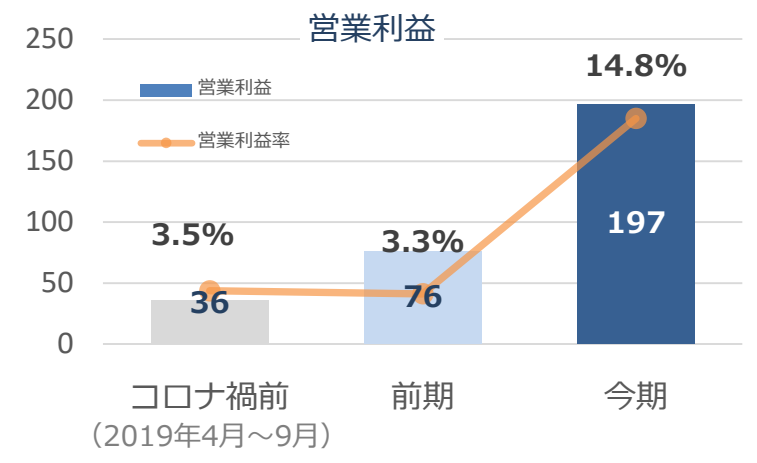
IPPUDO LONDON
平田バンズ & ビアセット

商品販売

ECサイトや一風堂関連商品、海外商品の販売が堅調に推移
 売上高は前年同期比40.7%増、営業利益は売上増により120百万円増



売上高前年比 140.7%



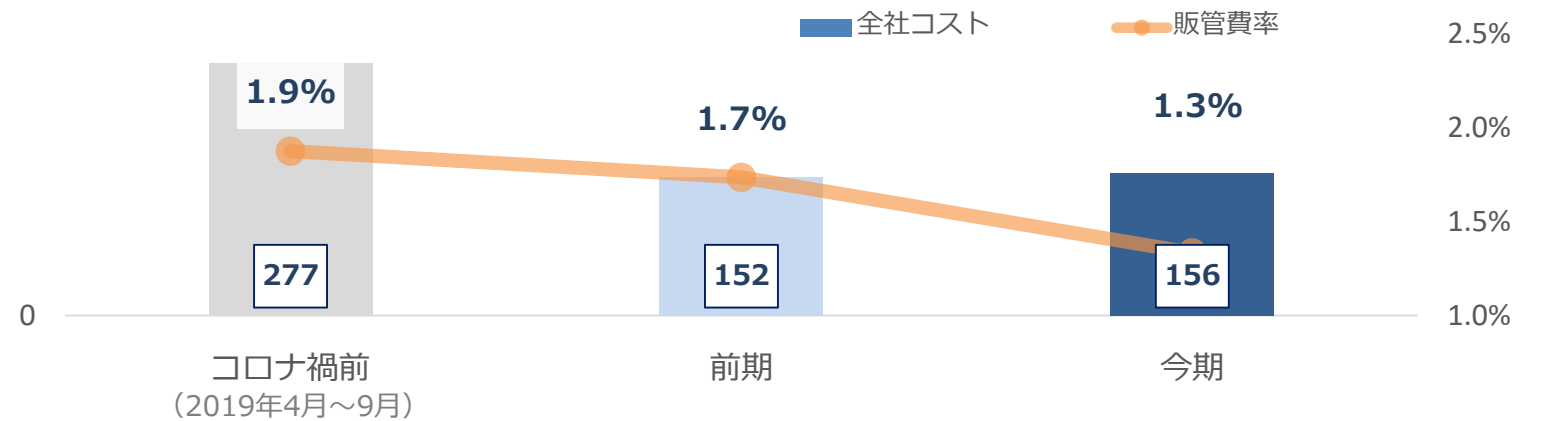
営業利益前年比 256.7%

全社コスト

連結売上高に対する販管費率1.3%と低水準を維持

※販管費率 = 全社コスト ÷ 連結売上高

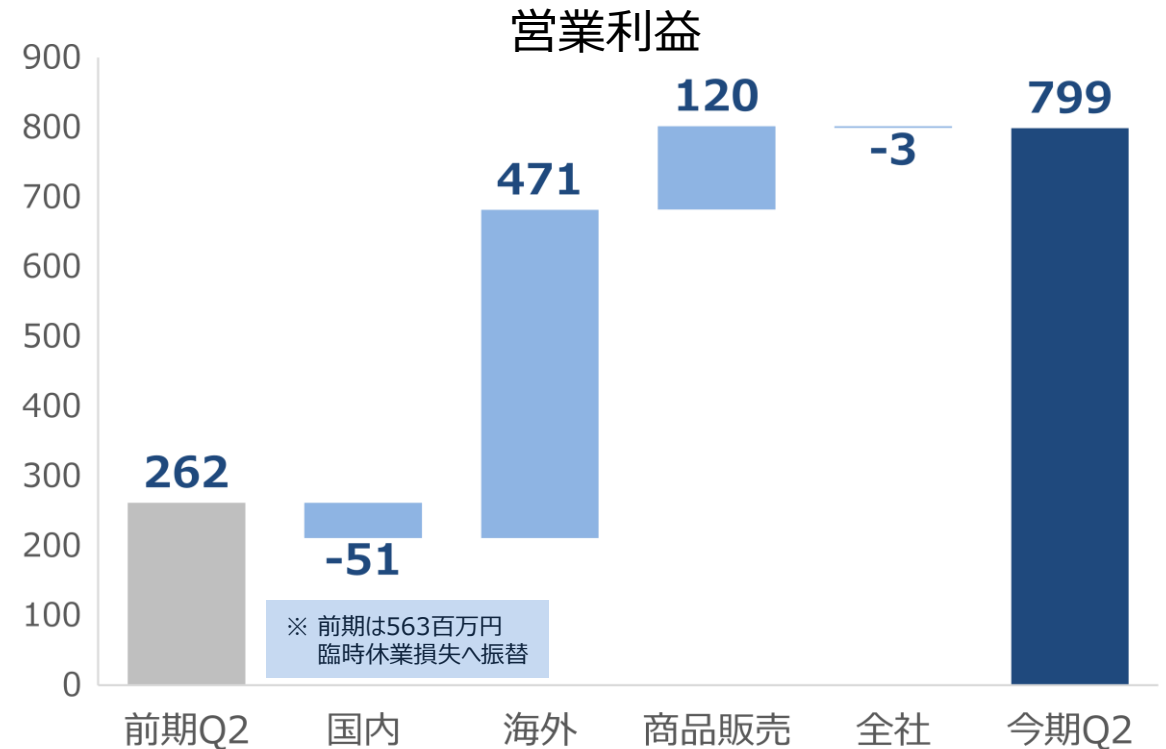
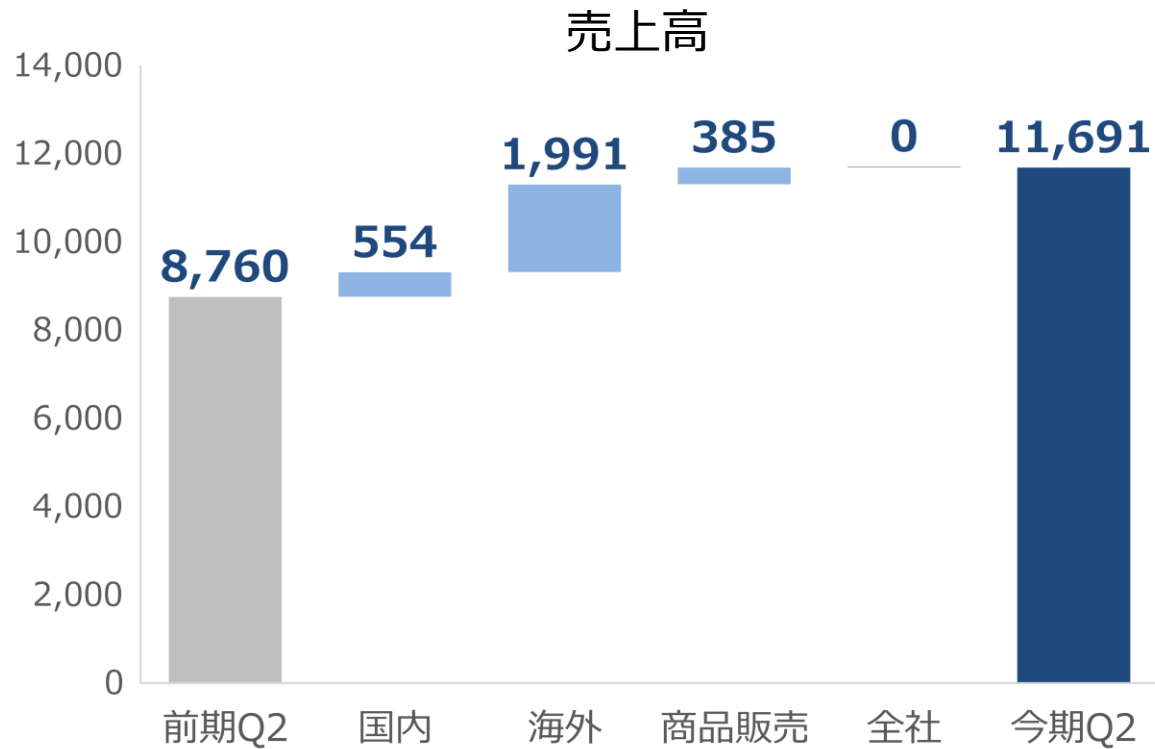
全社コスト及び販管費率



セグメント別売上高及び営業利益、営業利益率（前期比較）

売上、営業利益ともに前期と比較して海外の回復が顕著となり、国内は緩やかな回復に留まる
 国内は、前年同期563百万円の臨時休業損失（販管費から特別損失への振替）を計上しているが、
 当期は行っていない。商品販売は一風堂関連商品のBtoB営業強化、海外販売好調により伸長

単位：百万円



セグメント別営業利益率

	国内	海外	商品販売	全社	合計
今期Q2	3.5%	11.4%	14.8%	-	6.8%
前期Q2	5.0%	3.3%	8.1%	-	3.0%

業績回復と新株予約権行使による純資産の増加、有利子負債の減少により自己資本比率が上昇。国内及び海外の出店増により固定資産が増加

単位：百万円

	2022年 3月末	2022年 9月末	GAP
流動資産	6,650	7,040	+389
うち現金及び預金	4,773	5,153	+380
有形固定資産	5,703	5,973	+270
無形固定資産	177	172	-5
投資その他の資産	2,739	2,902	+162
固定資産	8,620	9,049	+428
資産合計	15,271	16,089	+817

■ 資産	
・ 現金及び預金の増加	+380百万円
・ 出店等による有形固定資産の取得	+270百万円
・ 資本提携による投資有価証券の増加	+136百万円

	2022年 3月末	2022年 9月末	GAP
負債合計	11,470	10,332	-1,138
うち短期借入金	2,500	2,500	-
うち長期借入金	4,838	3,925	-912
株主資本	3,647	5,365	+1,718
その他包括利益累計額	144	389	+245
新株予約権	8	1	-7
純資産合計	3,800	5,756	+1,956
負債純資産合計	15,271	16,089	+817

■ 負債	
・ 有利子負債の減少	-923百万円
・ 未払金の減少	-307百万円
・ 買掛金の増加	+108百万円

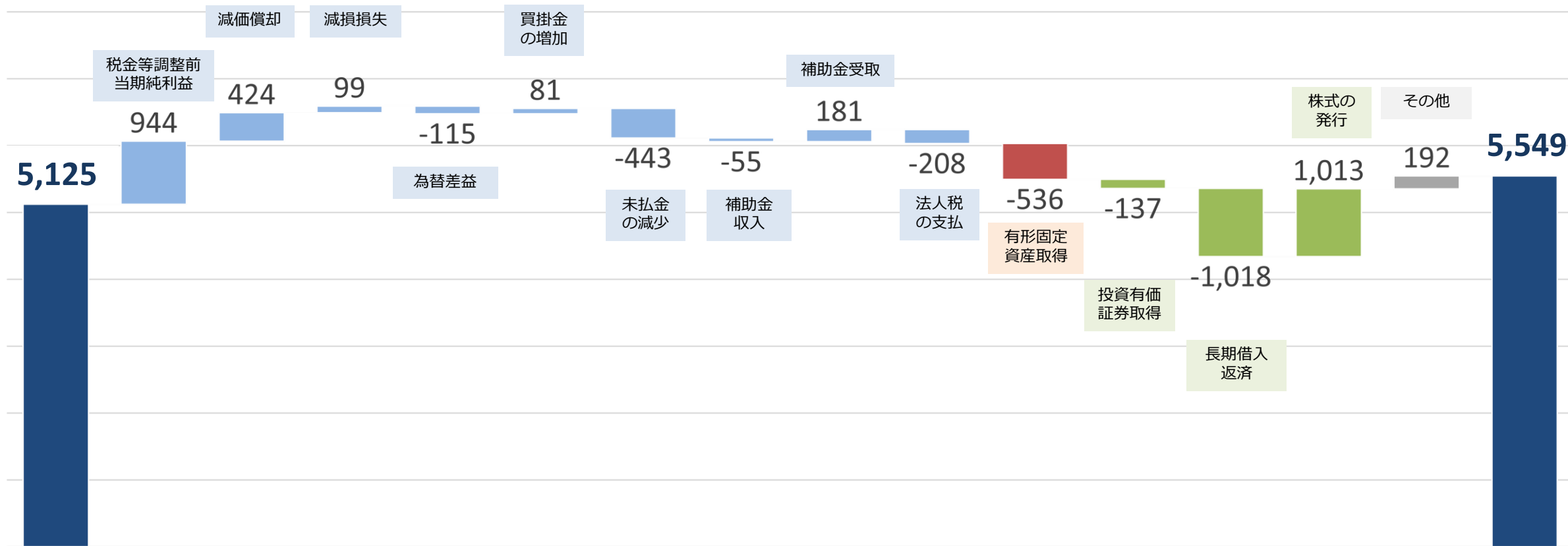
■ 純資産	
・ 資本金及び資本剰余金の増加	+1,022百万円
・ 利益剰余金の増加	+694百万円

※自己資本比率35.8%（2022年3月末24.8%）

単位：百万円	実績	計画	前期実績 2022年3月期	コロナ禍前実績 2020年3月期
売上高	11,691	11,289	8,760	14,772
前年対比成長率	+33.5%	-	-	-
売上総利益	8,257	-	6,202	10,523
販売費及び一般管理費	7,457	-	5,939	10,073
営業利益	799	479	262	449
営業利益率	6.8%	4.2%	3.0%	3.0%
経常利益	929	469	249	399
経常利益率	8.0%	4.2%	2.8%	2.7%
税金等調整前当期純利益	944	-	202	469
親会社株主に帰属する当期純利益	694	296	102	386
当期純利益率	5.9%	2.6%	1.2%	2.6%

現金及び現金同等物は424百万円の増加 EBITDAは546百万円の増加

単位：百万円



2022年3月期末

2022年9月末

新店舗オープン (7月~9月)

国内において一風堂5店舗、海外において一風堂3店舗を出店



一風堂
サンリブシティ小倉店



一風堂
イオンモール福津店



一風堂
仙台西口店



一風堂 白山店



一風堂 KAY
千歳店



IPPUDO SYDNEY
Circular Quay



IPPUDO MELBOURNE
Westfield Doncaster



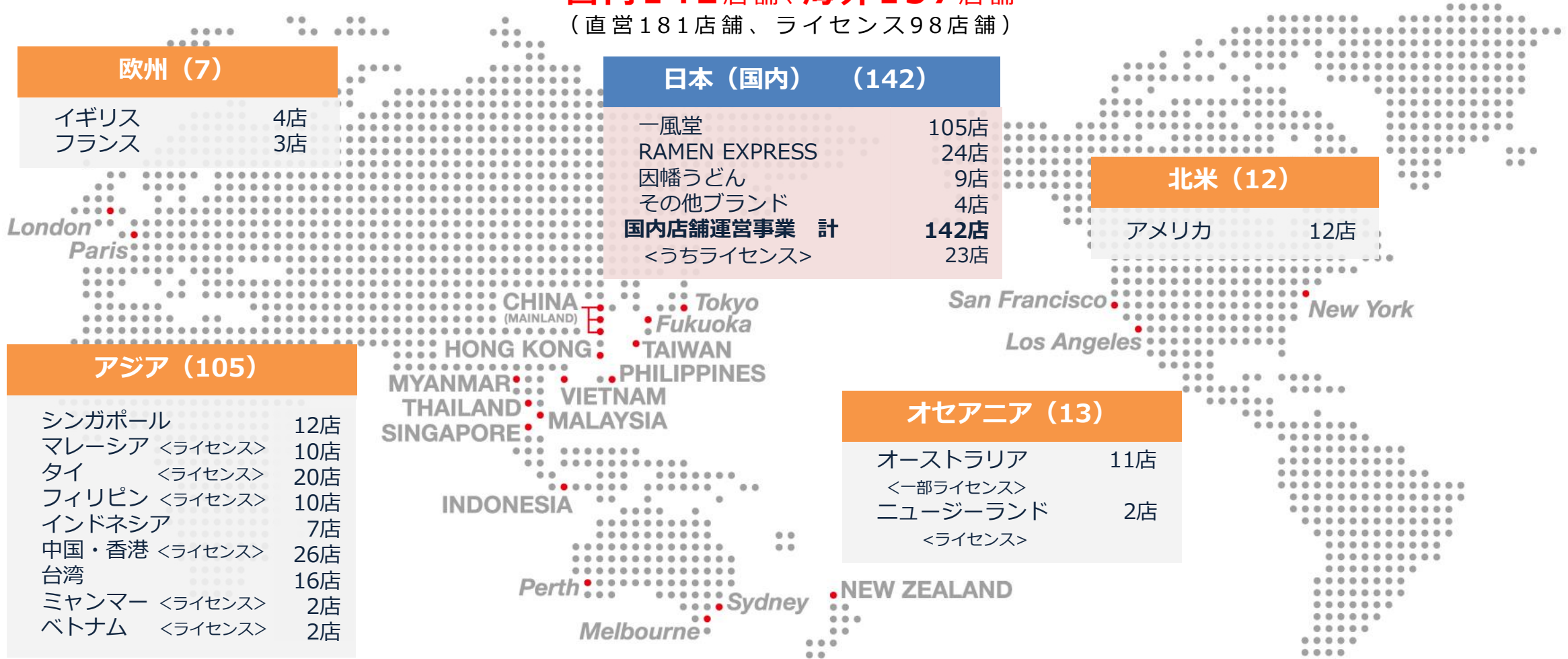
IPPUDO SG
Clarke Quay

Global 15ヶ国・地域 Total 279 店舗

(前期末からの増減+2店舗)

国内142店舗、海外137店舗

(直営181店舗、ライセンス98店舗)



欧州 (7)

イギリス	4店
フランス	3店

日本 (国内) (142)

一風堂	105店
RAMEN EXPRESS	24店
因幡うどん	9店
その他ブランド	4店
国内店舗運営事業 計	142店
<うちライセンス>	23店

北米 (12)

アメリカ	12店
------	-----

アジア (105)

シンガポール	12店
マレーシア <ライセンス>	10店
タイ <ライセンス>	20店
フィリピン <ライセンス>	10店
インドネシア	7店
中国・香港 <ライセンス>	26店
台湾	16店
ミャンマー <ライセンス>	2店
ベトナム <ライセンス>	2店

オセアニア (13)

オーストラリア	11店
<一部ライセンス>	
ニュージーランド	2店
<ライセンス>	

7月より米国発、自動調理販売機を展開する「Yo-Kai Express Inc.」と資本業務提携し、一風堂商品を共同開発
24時間本格ラーメンを無人で販売し、様々なメディアで取り上げられる
8月には「一風堂ラーメン総選挙2022」を実施し、投票1位に輝いたラーメンを10月の創業祭で期間限定販売
また、季節限定商品を導入するほか、プラントベースラーメンの販売を実施するなど、新規顧客の獲得および再来店を誘引



国内では、季節限定商品をECサイトで販売する他、コンビニエンスストアでは幅広い顧客のニーズに合わせた商品、量販店では自宅で本格的な味を楽しむことができる商品等を販売
 海外では、乾麺タイプのプラントベースラーメンを量販店で販売し好調に推移

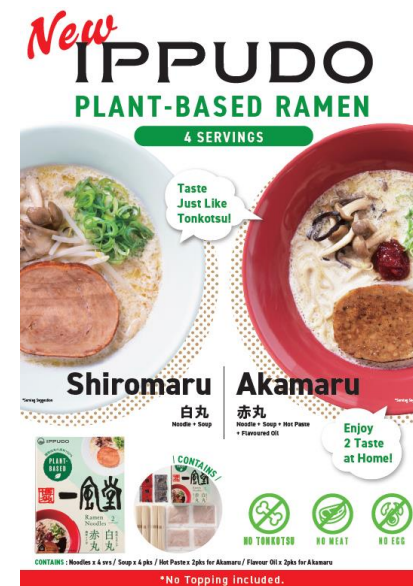
ECサイト（国内）



コンビニエンスストア・量販店（国内）



量販店（海外）



9月に「SDGs」に取り組む企業のイベント「GOOD LIFE フェア」に参加し、プラントベースラーメンを販売

食を通して

世界をもっと笑顔にしたい

ありがとうと言い合える

温かみのある社会をつくりたい

力の源グループは「食を通して新しい価値を創造し

『笑顔』と『ありがとう』とともに世界中に伝えていく。」ことを

創業の精神に掲げる企業として、

これまで社会や環境に貢献できる取り組みを行なってきました。

わたしたちは今後もこの想いを胸に、

社会がより良い姿で在り続けられるよう、積極的に行動していきます

以下のリンクからご覧ください

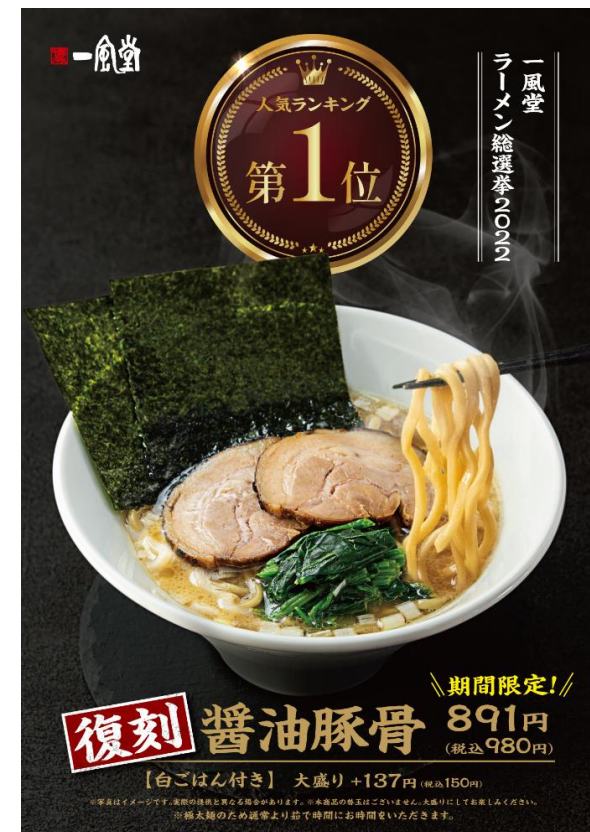
[力の源グループのSDGsへの取り組みに関するお知らせ](#)



10月以降の取組みについて

10月には、昨年販売時に大きく話題となった「コクと旨味の一風堂豚骨ラーメンスープ」を再販

10月16日には、毎年恒例となっている「創業祭」を開催。8月に実施した「一風堂ラーメン総選挙2022」で1位に輝いた「醤油豚骨」を復刻販売、お得なクーポン配布等のイベントを実施
また「一風堂」を3店舗出店



2023年3月期（今期）計画

国内海外共に、新型コロナウイルス感染症や為替変動、原材料やエネルギー価格動向に不安要素はあるものの、Q3以降も各施策の継続により、業績が堅調に推移することを見込み、上方修正

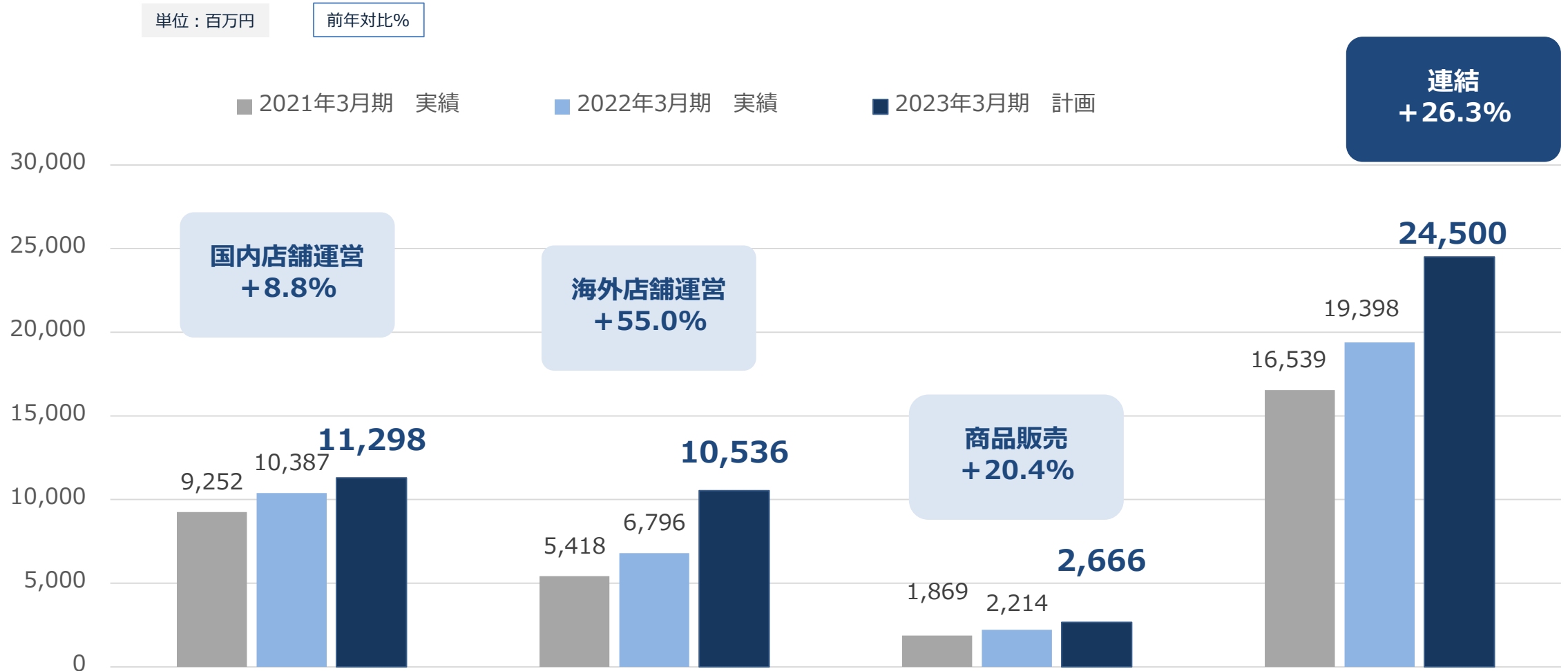
単位：百万円

	2022年3月期 実績	2023年3月期 当初計画	2023年3月期 修正計画	前年比		2023年3月期 Q2	
				増加額	増加率	実績	進捗率
売上高	19,398	23,750	24,500	+5,102	+26.3%	11,691	47.7%
営業利益	1,050	1,383	1,710	+660	+62.9%	799	46.8%
経常利益	1,083	1,355	1,830	+747	+69.0%	929	50.8%
親会社株主に帰属する純利益	923	950	1,350	+427	+46.3%	694	51.4%

※ ロックダウンや営業規制に伴う、「臨時休業損失」や「補助金収入」は見込んでおりません

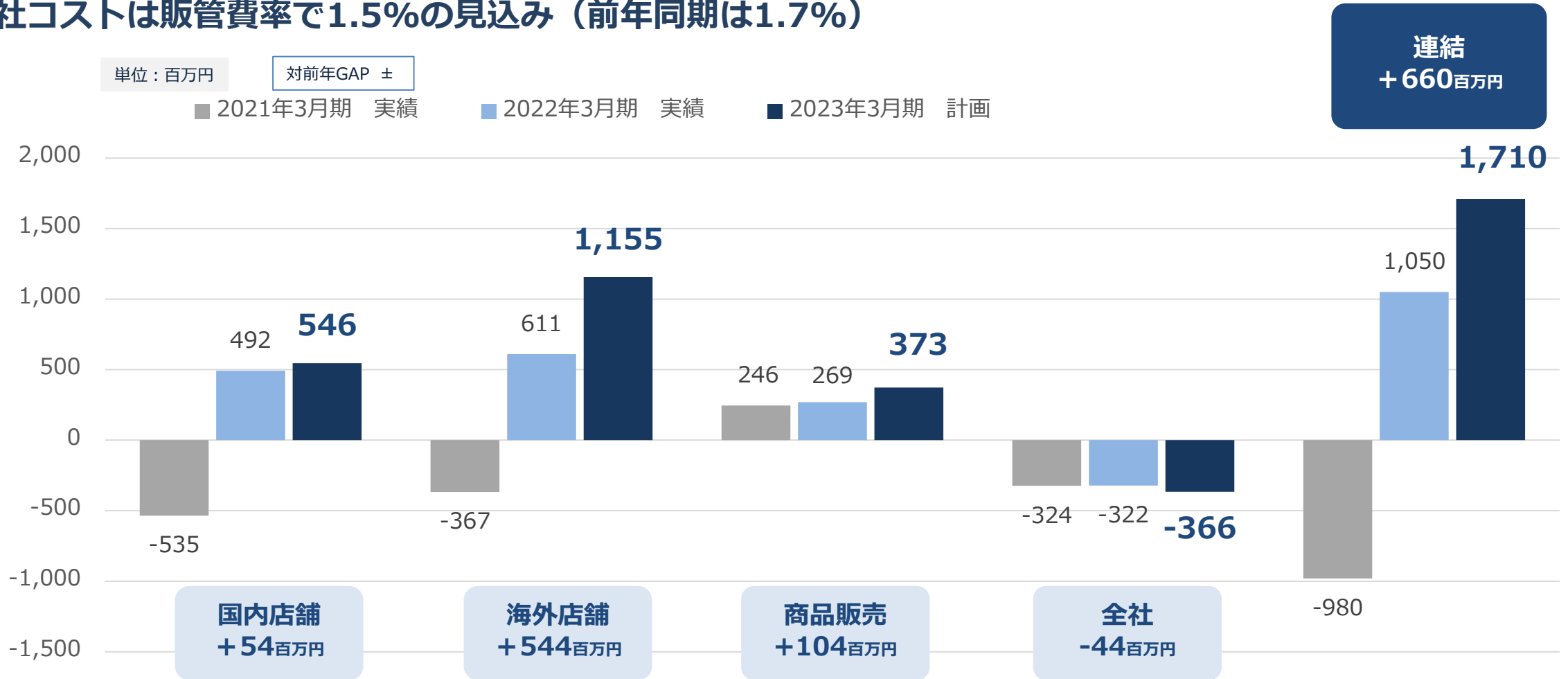
2023年3月期業績予想（売上高）

Q2までと同様に、海外店舗の売上回復、一風堂関連商品販売の好調を維持し、売上増の見込み
また、未確定の出店候補は多数あり積極的に出店する



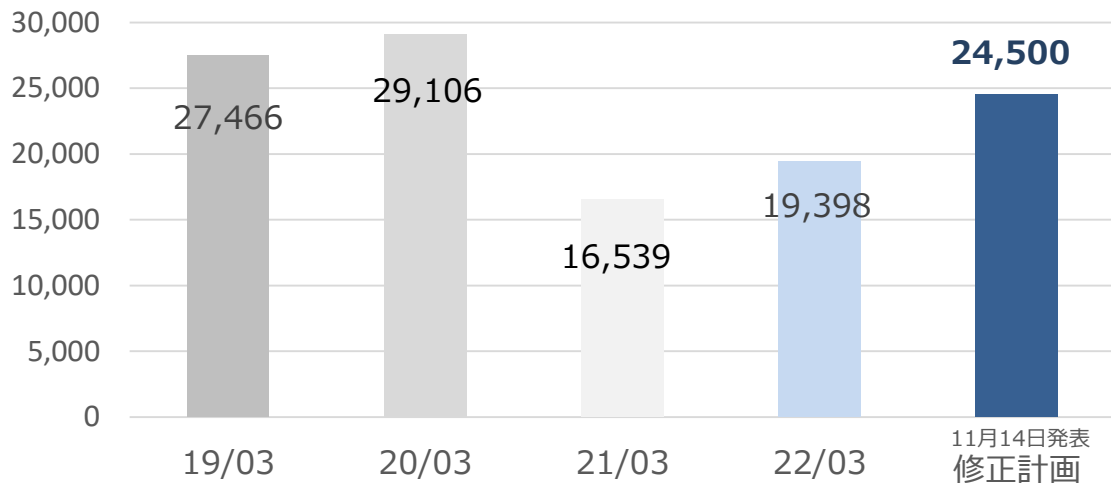
2023年3月期業績予想（営業利益）

Q3以降も、為替、原材料やエネルギー価格変動等の不安要素はあるものの、引き続きコストコントロールおよび、モバイルオーダーやモバイル決済等の各種DX施策の推進等により増益の見込み
 全社コストは販管費率で1.5%の見込み（前年同期は1.7%）

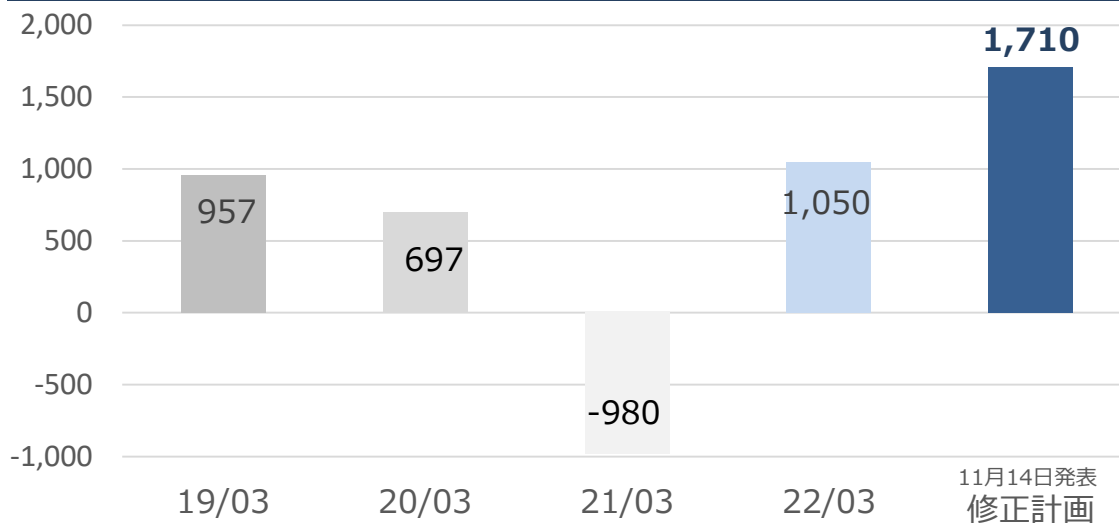


参考 経営指標 (5力年)

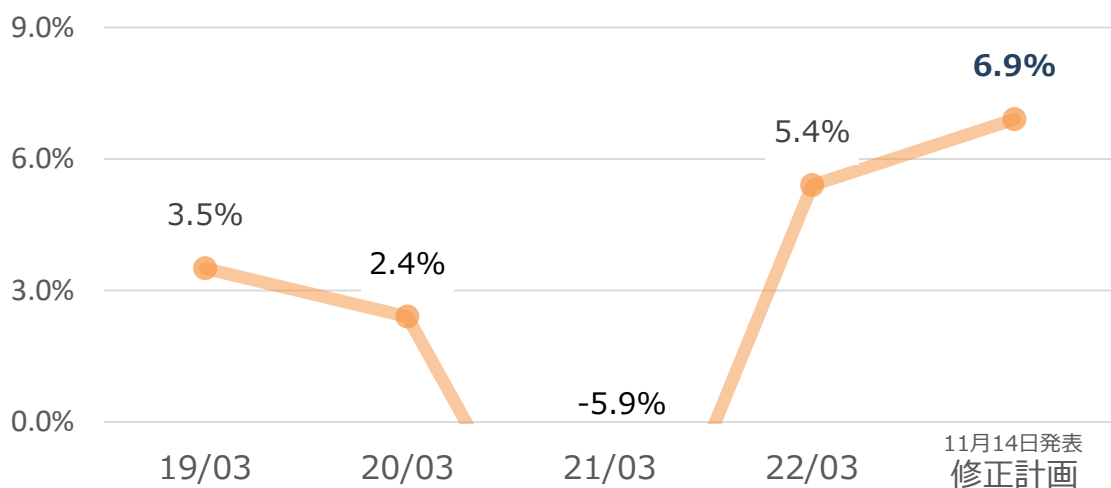
売上高



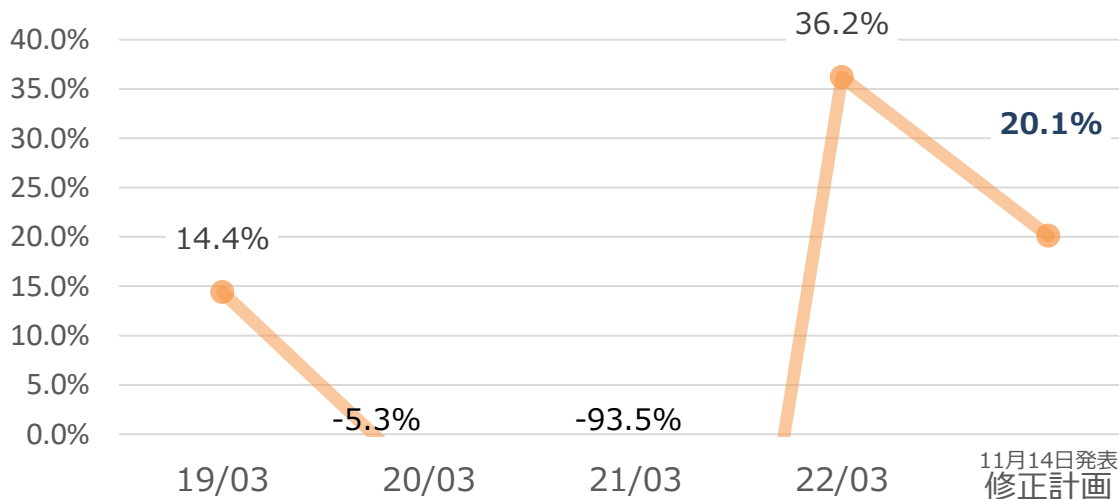
営業利益



営業利益率

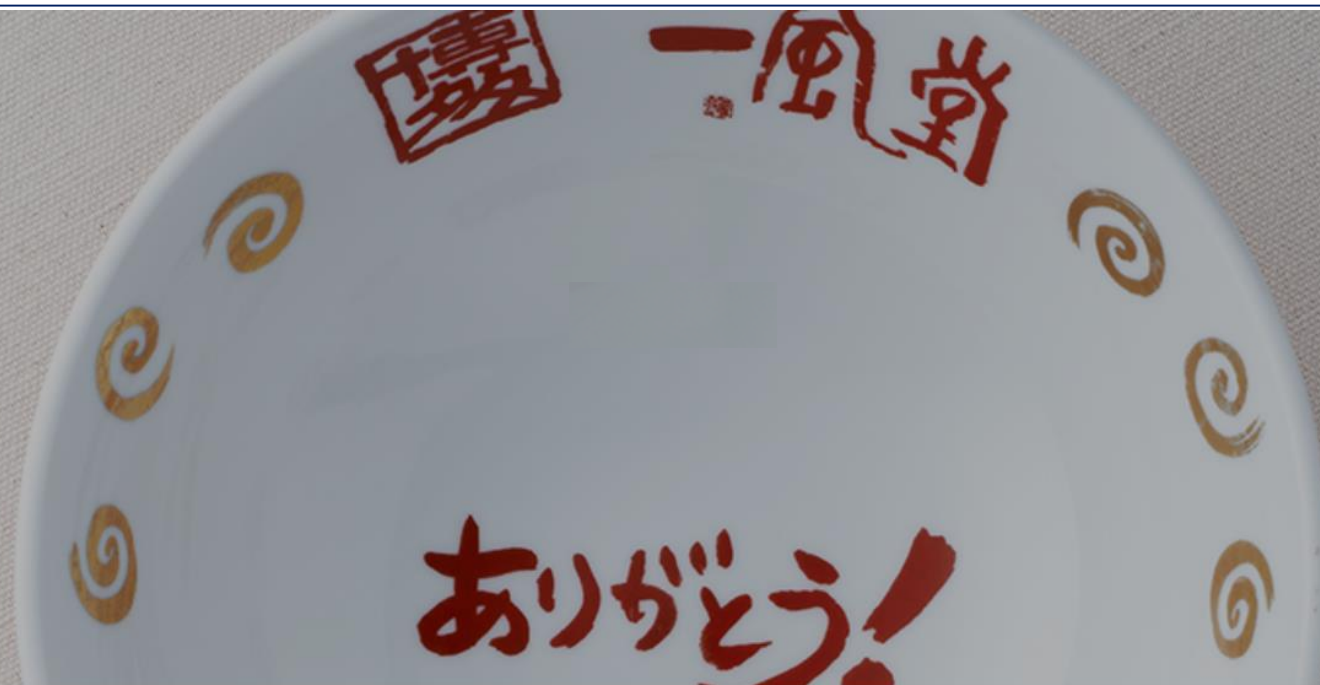


ROE



付属資料

3



食を通して新しい価値を創造し

「笑顔」と「ありがとう」とともに

世界中に伝えていく。

変わらないために、変わり続ける。

株式会社 力の源ホールディングス

【証券コード:3561】

- 所在地 福岡市中央区大名一丁目13番14号
- 設立 1986年（昭和61年）10月30日
- 資本金 26億 5,186万円（発行済株式数：28,784,400株）
- 決算期 3月
- 従業員数 34名（連結487名） ※臨時従業員除く
- 役員構成

代表取締役社長		河原 成美	Mr. Shigemi Kawahara
取締役		中尾 徹	Mr. Toru Nakao
取締役 CSO		山根 智之	Mr. Tomoyuki Yamane
取締役（監査等委員）		齋藤 晃宏	Mr. Akihiro Saito
取締役（監査等委員／社外）	独立役員	辻 哲哉	Mr. Tetsuya Tsuji
取締役（監査等委員／社外）	独立役員	田鍋 晋二	Mr. Shinji Tanabe

（2022年9月末現在）

原点の一杯
白丸元味



白丸元味

創業当時の味を今に引き継ぐ、一風堂の豚骨ラーメンの本流であり、原点の味。シンプルな豚骨の旨味を極限まで抽出した豊かで香り高いシルキーなスープに、小麦本来の風味が香る博多の細麺がマッチします。

革新の一杯
赤丸新味



赤丸新味

自家製の香味油と辛みそを加えることで、一杯のラーメンの中でいくつもの味の奥行きと調和を楽しめる。白丸が正統派のとんこつラーメンならば、赤丸新味は豚骨ラーメンの可能性を広げた“革新派”

極からか麺



極からか麺

シルキーな豚骨スープに、自家製ラー油と香油を合わせ辛味とコクをプラスし、数種類のスパイスを合わせた肉味噌と「シーズニング天かす」を大胆にトッピング。別皿で添えた「胡麻ばくだん」を途中で溶かすと、担々麺風に味変します。

世界中に笑顔とありがとうを



1985.10.16

創業：福岡市中央区大名に「博多 一風堂」を1号店をオープン

1979.11

福岡市博多区に レストランバー「アフターザレイン」をオープン

1994.3

横浜市の「新横浜ラーメン博物館」に出店。関東初進出

1995.4

東京 第1号店「一風堂 恵比寿店」をオープン

1997.1

テレビ東京「TVチャンピオン」にてラーメン職人選手権優勝。3連覇

2008.3

アメリカ・NYに、海外1号店をオープン

2009.5

シンガポールに、アジア1号店をオープン

2014.10

イギリス ロンドンに初出店（欧州初進出）

2015.10

創業30周年 記念イベント実施

2016.2

フランス パリに初出店

2017.3

東京証券取引所マザーズに株式を上場

2018.3

東京証券取引所市場第一部に変更

2018.11

海外100店舗を達成

2019.10

Global Leadership Conference開催

2022.4

東京証券取引所
プライム市場に移行

本資料は、株式会社力の源ホールディングス（以下「当社」）の企業情報の提供のために作成されたものであり、日本における当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料は事前の通知なく変更されることがあります。本資料またはその内容については、当社の事前の書面による同意がない限り、いかなる目的においても第三者が利用することはできません。

本資料に記載される業界、市場動向、または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの経営成績、財務状態、その他結果は、経済情勢、外食産業の市場動向、消費者の嗜好の変化、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。したがって、将来情報に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来情報に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

